



UNITRON

install Sustainable Aquaculture on Earth

水産養殖の拡大余地

現在の水産物消費量の100倍を生産できる可能性あり



Rebecca R. Gentry, et. al.,
Mapping the global potential for
marine aquaculture, Nature
Ecology & Evolution volume 1,
pages 1317–1324 (2017)

コスト

- ・飼料コスト
- ・省力化
- ・種苗コスト
- ・減価償却等

リスク

- ・赤潮対策
- ・魚病対策
- ・急潮把握

売上

- ・市場価格の変動
- ・トレーサビリティ
- ・認証対応
- ・流通・販売チャネルの確保



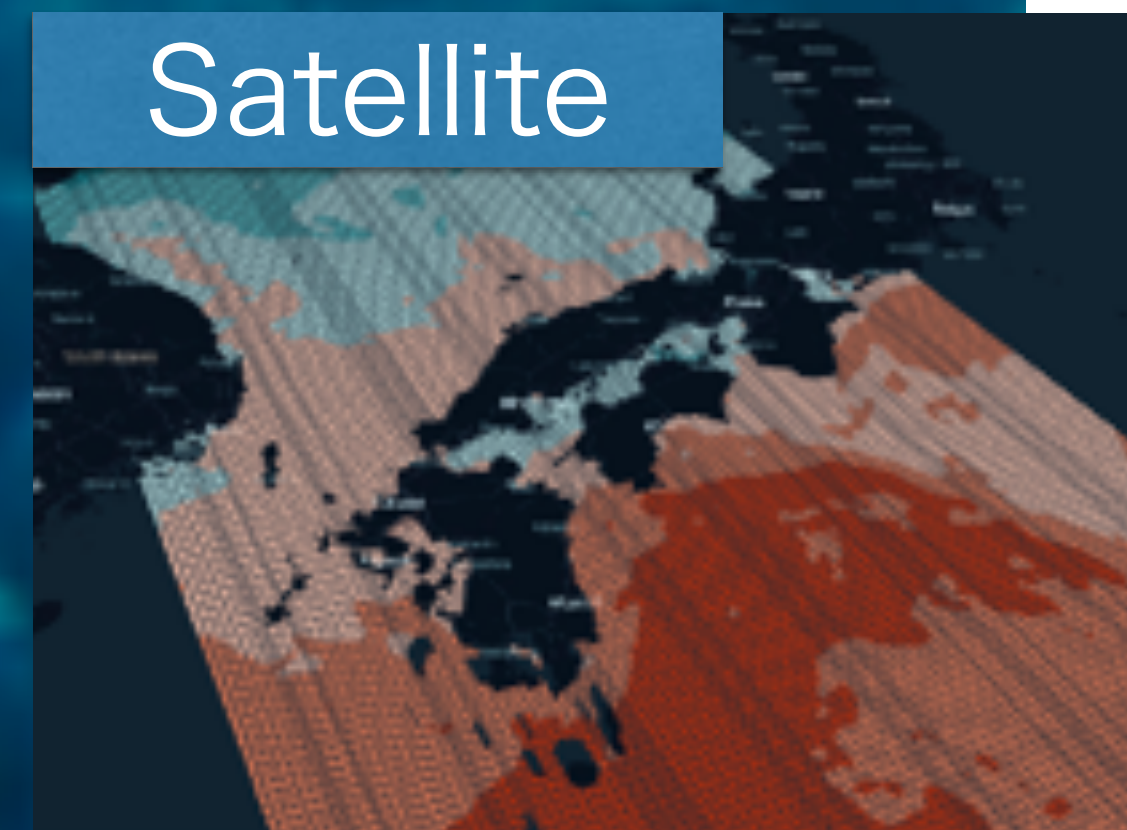
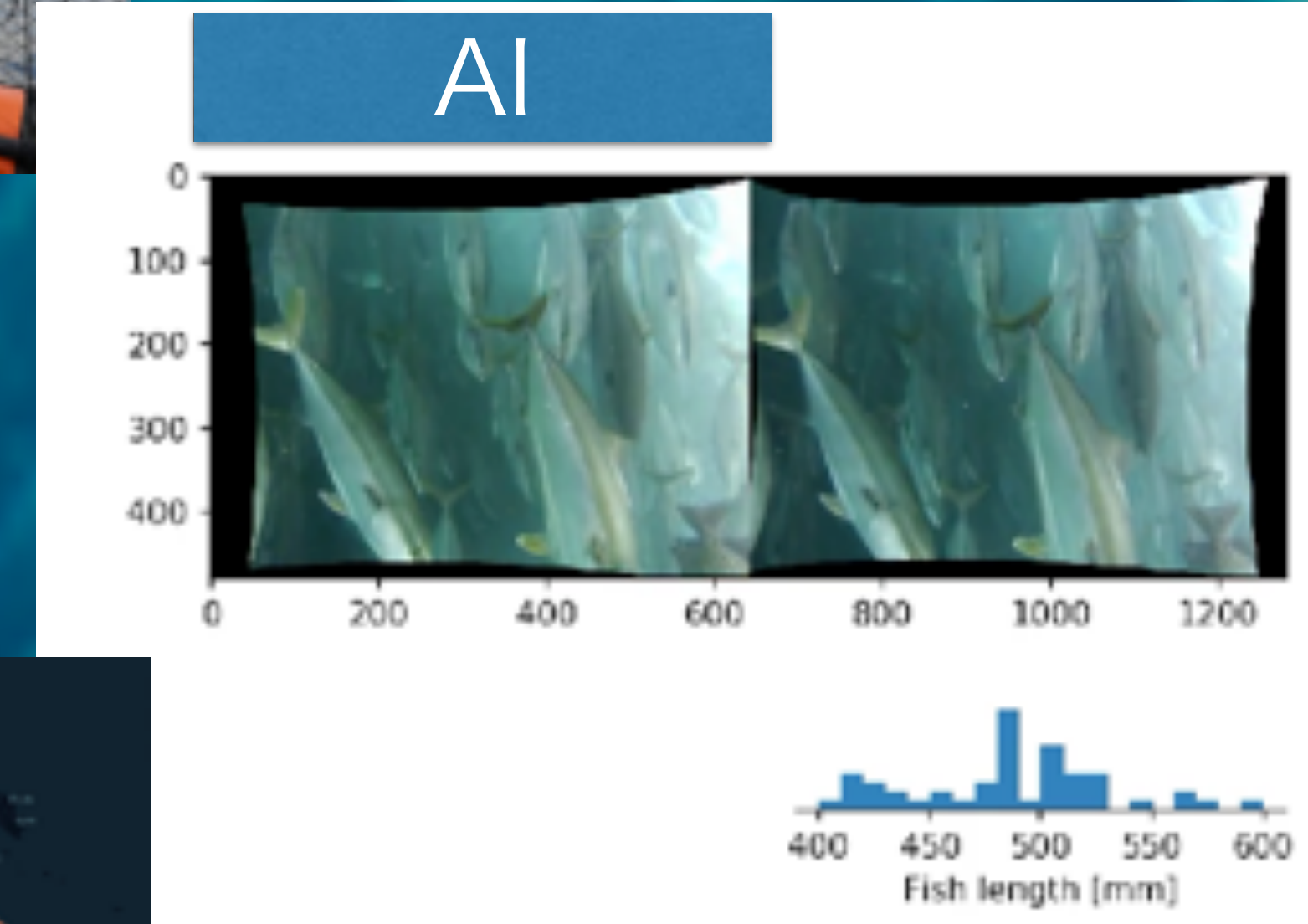
AI powered auto feeder

UMITRONCELL

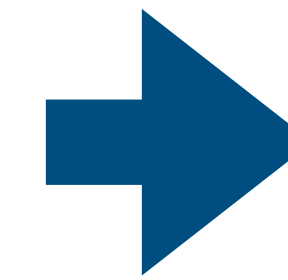
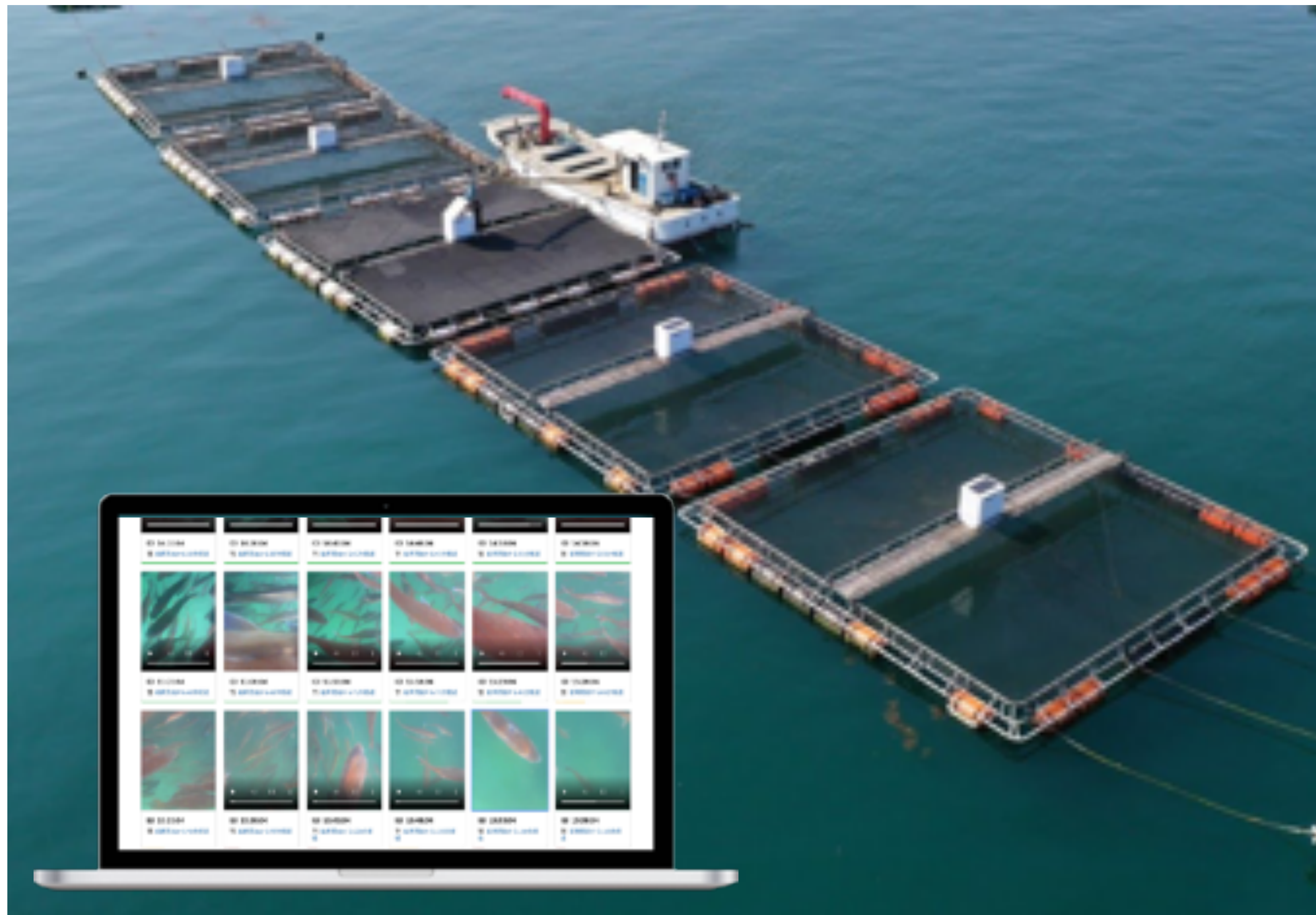
養殖業と先端技術の接点

養殖業の特徴

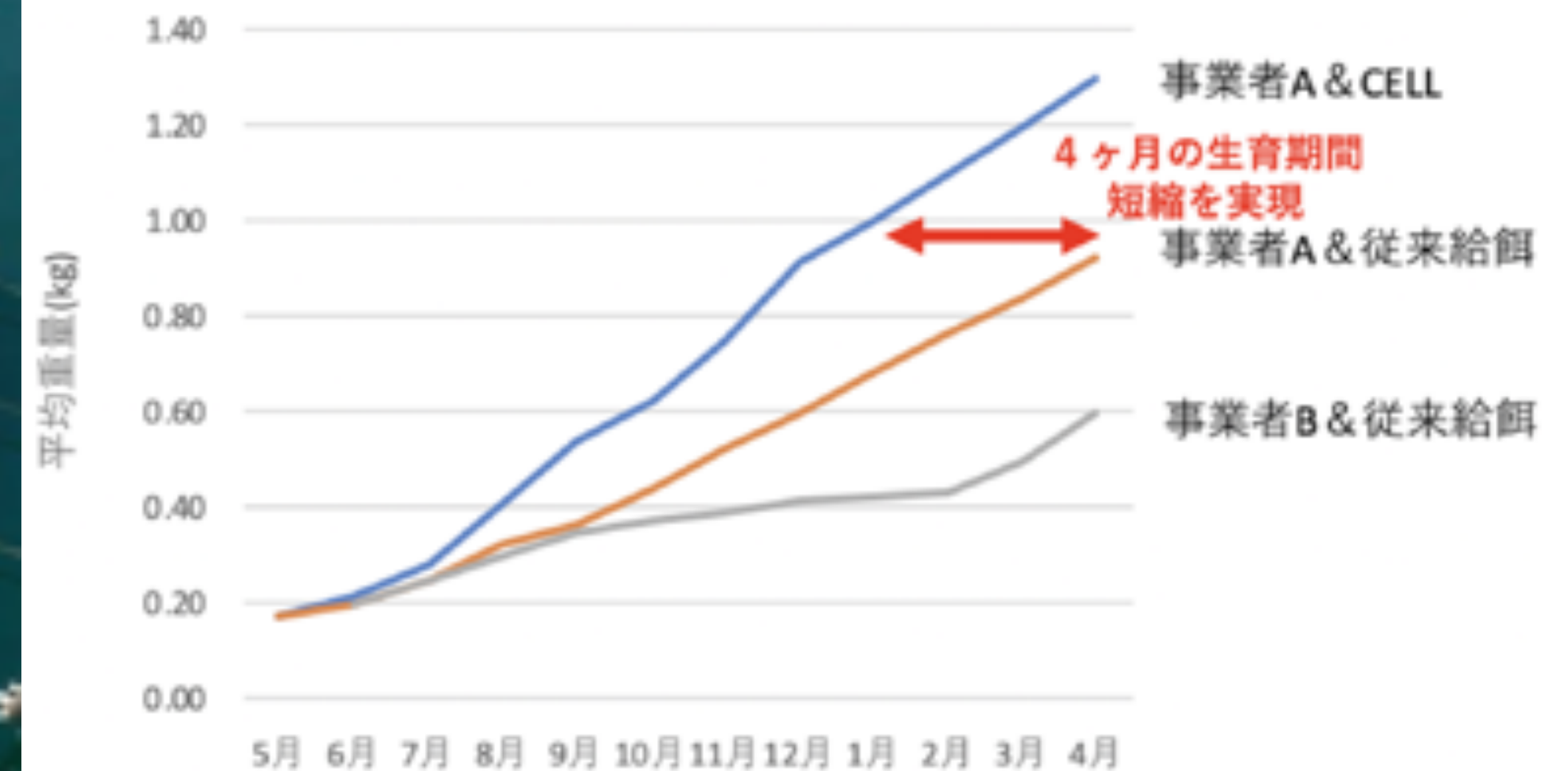
- データ取得が難しい
- 定量化が難しい
- 環境に依存する



独自の累積80年分の魚の行動動画データ、機械学習による行動分析、生育の自動化により、生育期間を4ヶ月短縮、飼料効率も2.62->2.06へ向上



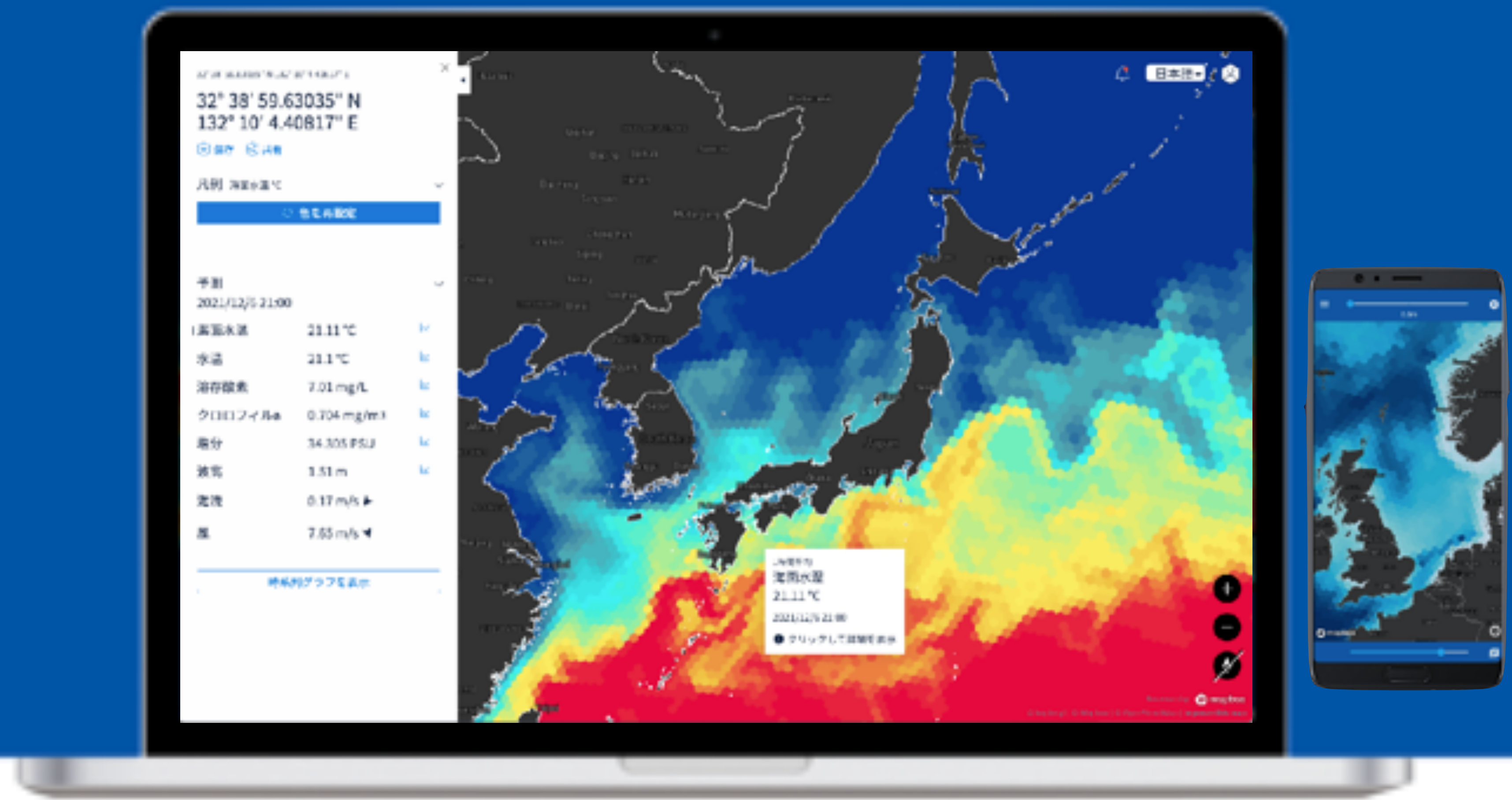
- 生育コスト改善
- リスク低減
- 環境負荷低減



UMITRON PULSE

高解像度衛星データを活用した
水産養殖向け海洋データサービス

海洋データをいつでも、どこでも、指先で。



「うみとさち」

テクノロジーの利用等で
持続可能性に配慮して育てたシーフード



うみとさちの3つのこだわり



おいしさ

シーフードを育てる匠が
こだわり抜いた、
海のごちそうをお届けします。



安心

対話を重ねることで見えてきた
匠の素顔やストーリー、
環境情報を公開します。



サステナブル

匠たちの取り組みや哲学、
それを支えるテクノロジーで
海にやさしく育てています。

UMITRONのアプローチ

生産現場の課題解決

IT・AI・宇宙/先端技術の現場導入

持続可能な養殖業を地球に実装する

Thank you
kenf@umitron.com